



自分たちのまちは

自分たちで守る」ために

地域で取り組む災害時への備え

災害ボランティアセンターに関する研修会

災害ボランティアセンターは大規模災害時に社協が設置し、自分たちのまちの復旧・復興を支援します。島本町社協は平成26（2014）年から、地区福祉委員を対象に運営シミュレーション訓練などに取り組み、いざという時に備えています。今年センターをより効果的、効



災害ボランティアセンターの役割について学んだ地区福祉委員研修会

率的に運営できるように設置・運営マニュアルを改訂したことから、改めてセンターの役割と機能について学びました。

関係機関との連携強化

島本町…平成26（2014）年「島本町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を締結しました。町と社協で連携して効果的、効率的に災害対応にあたるため、ボランティアの受け入れや派遣の調整等を社協が担います。
島本町ライオンズクラブ…令和3（2021）年、災害ボランティアセンター運営に必要な資器材、人材提供に関する協定を締結しました。

島本町で**災害**が起こったら…



被災者



片付けや泥のかき出しを手伝ってほしい。どこに相談すればいいのかな…。

避難所で子どもと遊んでほしい。情報を知りたい…。



ボランティア



片付けや泥のかき出しを手伝いたいけど…。困っている人はどこにいるのかな…。

力仕事はできないけど、何か手伝いたい。でも…。手伝いにはどんな準備が必要かな…。



被災者の「誰かの力を借りたい」、ボランティアの「誰かの力になりたい」をつなぎます。

島本町災害ボランティアセンター

受付

情報収集

連絡調整

活動への支援

ともに被災地の復興を目指します。



平成30（2018）年の大阪府北部地震、台風21号被害から4年が経ちました。今年には春以降、京都府南部を震源とする地震が相次ぎ、あのときの記憶から改めて警戒感をもった方も多いのではないのでしょうか。
大規模災害が起きた時、広域からの支援が受けられるまでには時間がかかります。まずは「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識のもと、地域住民で助け合うことが求められます。
島本町社会福祉協議会（社協）が取り組む大規模災害への備えをご紹介します。